



新年 地域を結ぶ「復興大漁旗」掲揚 2012年元旦～ 於：石巻市北上町十三浜大指 大指港

2012年元旦、石巻の漁港「大指港」にて、全世帯に贈呈された「大漁旗」を掲揚し復興を願います。

石巻にある37世帯が暮らす小さな漁村「大指(おおざし)」では、毎年お正月には前途を祈念し、港に係留した船に大漁旗を飾る風習があります。しかしながら津波で大漁旗を失い「来年は旗を飾ることは無理だろう」と言っている方が多い中、地元漁師より「大指の船すべての大漁旗を鯉のぼりのように港に飾りたい、船の残った人も失った人もすべての大漁旗を」というご提案を受けました。3月11日に襲った東日本大震災により、小さな漁村の中でも被害の格差を生む中、地元漁師の「地域が一丸となって欲しい」と願う想い、「全世帯が揃って2012年新年を復興の決意を皆であらたにしたい」という想いを受けて始まったプロジェクトです。

大漁旗とは一般的に進水式にて親類縁者から贈られるもの。この想いを受け、インターネットで贈呈者37組を募りました。各大漁旗には、それぞれの船名とそれぞれの贈呈者名がプリント。37世帯分の37旗と、贈呈者の応援メッセージが寄せ書きされた日本国旗を、1月1日元旦から3日間掲揚した後、それぞれの旗を各世帯へ贈呈。また、贈呈者には同じデザインのミニ旗を各船主から送り、今後の交流を促します。

※船名は先祖代々受け継がれるもの。船を失った方も、新造船には同じ船名をつける予定。

<地域を結ぶ「復興大漁旗」の掲揚>

2012年1月1日(元旦)から1月3日まで(31日中に掲揚完了)

※雨天時は一時取り下げの可能性がございます

宮城県石巻市北上町十三浜大指 大指港にて (地図:<http://g.co/maps/nwvd5>)

<大指港>



被災した建物から港へロープで旗を飾る

<大漁旗イメージ>



各旗に「船名」「贈呈者名」をプリント

<応援メッセージ入り国旗>



贈呈者からの応援メッセージ入り国旗

先着37組、3日間の期限付きでインターネット募った大漁旗贈呈者は、定員を遥かに越えた80組以上の申し込みがありました。新年の大指に贈呈する旗は37組としましたが、多数集まった贈呈者の想いを繋げるべく、当プロジェクトは3月11日に向け、13の浜(漁師村)があるといわれる大指が所属する「十三浜地区」に拡大し、更に地域と地域を結んでいきます。贈呈者は申し込みサイト(<http://bit.ly/ttkFWg>)にて随時受付中。

<問い合わせ先>

非営利型一般社団法人 チームともだち (HP: <http://tomodachi.in/>)

地域を結ぶ大漁旗プロジェクト 赤坂友紀 (email: tairyubataproject@gmail.com 携帯:090-1969-3790)